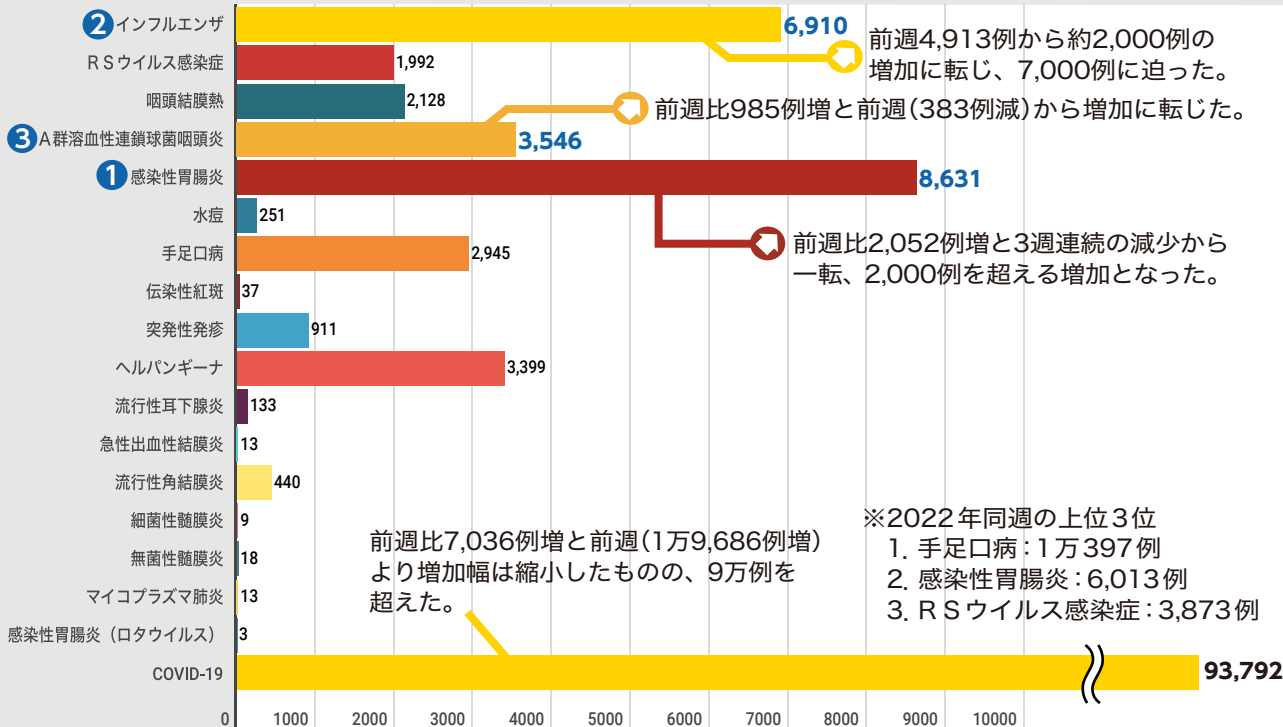


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎とインフル、約2,000例の増転

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

1 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 834例
- 埼玉県: 533例
- 大阪府: 525例

定点当たりの報告数(2.76)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 大分県: 6.22 | 4. 石川県: 4.59 | 7. 熊本県: 3.94 | 10. 岡山県: 3.59 |
| 2. 宮崎県: 5.00 | 5. 鳥取県: 4.42 | 8. 徳島県: 3.83 | 11. 岩手県: 3.51 |
| 3. 香川県: 4.82 | 6. 三重県: 4.07 | 9. 福岡県: 3.61 | 12. 鹿児島県: 3.40 |

2 インフルエンザ

報告数

- 東京都: 576例
- 福岡県: 525例
- 神奈川県: 477例

定点当たりの報告数(1.40)

- | | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 5.41 | 4. 鹿児島県: 2.40 | 7. 和歌山県: 2.18 | 9. 三重県: 1.77 |
| 2. 宮崎県: 3.17 | 5. 山口県: 2.27 | 8. 熊本県: 1.89 | 11. 鳥取県: 1.69 |
| 3. 福岡県: 2.65 | 6. 長崎県: 2.23 | 9. 愛知県: 1.77 | 12. 愛媛県: 1.67 |

3 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 大阪府: 323例
- 福岡県: 302例
- 東京都: 270例

定点当たりの報告数(1.13)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 3.06 | 4. 佐賀県: 1.91 | 7. 大阪府: 1.66 | 10. 山口県: 1.50 |
| 2. 鳥取県: 2.63 | 5. 茨城県: 1.85 | 8. 宮崎県: 1.64 | 11. 富山県: 1.48 |
| 3. 福岡県: 2.52 | 6. 福井県: 1.68 | 9. 長崎県: 1.55 | 12. 埼玉県: 1.39 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎とインフルエンザは、3週連続の減少から2,000例前後の大幅な増加に転じ、流行の再拡大が見られる。特にインフルエンザは、コロナ流行以前の2019年同週(8月19~25日、1,157例)と比べると約6倍に達しており、引き続きこれまでに見られない流行状況となっている。また、同様に減少していたA群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週から1,000例に迫る増加に転じ、手足口病は706例の増加、さらに第27週(7月3~9日)以降減少していたヘルパンギーナも前週から526例増加した。COVID-19は前週から増加幅こそ大きく縮小したものの9万例半ばに迫り、8月以降は入院患者数が2万例超で推移している。定点当たりの報告数は岩手県で31.71と2週連続の30台超え、次いで青森県で31.30、宮城県で29.54と多く、東北地域を中心に東日本での流行が強まっている。飛沫感染する感染症の拡大傾向が続いており、夏休み明けの動向を注視するとともに秋季の流行にも強い警戒が必要である。